

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)

事業成果報告書

令和6年2月29日

公益社団法人広島パラスポーツ協会

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)

事業成果報告書

目次

1. 事業の実施期間
2. 事業趣旨
3. 事業の実施体制
 - (1) 主催
 - (2) 実行委員会の構成員
 - (3) 実行委員会の開催
4. 事業の内容
 - (1) 事業のテーマ (ロゴ・スローガン)
 - (2) 事業の事業内容
5. 事業の成果
 - (1) 評価指標
 - (2) 結果 (目標) と考察
6. 今後の事業展開予定
 - (1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題
 - (2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

参考資料等

- ・「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島 2023」報告書
- ・「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島 2023 実行委員会」役員名簿
- ・実行委員会資料・議事録 (第1～3回分)

1. 事業の実施期間

令和5年8月24日～令和6年1月31日

2. 事業趣旨

- 障害の有無にかかわらず、だれもが参画し、楽しめる「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ」を開催し、パラスポーツの普及を通して、多様性を認め合う平和な共生社会の実現を目指す。
- 県内を4つに分けて、持ち回りをするなど（来年度以降の予定）、県内各地域でのパラスポーツの機運醸成を図り、一過性ではなく、持続的に続くパラスポーツの普及啓発を目指す。
- （公社）広島県パラスポーツ協会と広島県においては、県パラスポーツ推進事業において、①「普及啓発・認知向上」、②「場の充実・機会の確保」（活動場所、用具などの環境充実等）、③「競技力向上」の3つの施策を有機的、連続的に結び付け、「支える土台づくり」となる多様なキープレーヤー（※）とともに一体的に取り組むことを事業内容としており、その起爆剤として「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023」を開催する。
※市町、競技団体、民間企業、大学、ボランティア、指導者、理学療法士等
※当フェスタを開催するに当たり、上記の多様なキープレーヤーとの有機的な関係を構築し、今後も持続的な体制を整備するために、運営側の役員・スタッフ、ボランティアには、県内のできる限りの関係者に当フェスタに参加していただき、関係強化に努める。

3. 事業の実施体制

(1) 主催 公益社団法人広島パラスポーツ協会

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023 実行委員会

(2) 実行委員会の構成員

顧問 広島県知事、東広島市長、呉市長、竹原市長、三原市長、三次市長、大崎上島町長、世羅町長

会長 公益社団法人広島パラスポーツ協会 会長

実行委員 県スポーツ推進課長、開催市町担当課長、競技団体、企業、理学療法士会、指導者協議会、大学等

(3) 実行委員会の開催

ア 第1回実行委員会

【概要】 インクルーシブ・スポーツ・フェスタのサブ会場運営に係る共有事項について

【日時】 令和5年8月8日（火）10時00分～10時30分

【対象】 開催市町担当課長（実行委員）

イ 第2回実行委員会

【概要】 インクルーシブ・スポーツ・フェスタ各種体験会の概要および運営について

【日時】 令和5年9月8日（金）16時00分～17時00分

【対象】 体験会実施（競技団体・企業）担当（実行委員）

ウ 第3回実行委員会

【概要】①フェスタ実施報告・アンケート集計結果報告、②ダイジェスト動画の共有
③意見交換・質問等

【日時】令和5年12月18日（月）10時00分～10時30分

【対象】実行委員全員

4. 事業の内容

(1) 事業のテーマ（ロゴ・スローガン）

ア ロゴ



『コンセプト』

～パラスポーツを通じた活力ある共生社会(インクルーシブ社会)の実現にむけて～
3つの施策である「普及啓発・認知向上」「場の充実・機会の提供」「競技力向上」を
有機的、連続的に結び付け、多様なキープレーヤー(行政、競技団体、民間企業、学校、
ボランティア、指導者など)と一体となって、支え合う環境を充実させることが
持続的なインクルーシブ社会の実現を目指すことをロゴにより表現

イ スローガン

All One ～スポーツには、あらゆる壁を超えてつながるチカラがある～

(2) 事業の実施内容

ア 開催日時

令和5年9月30日（土）～10月1日（日）2日間

令和5年9月30日（土）開会式

ボッチャエキシビジョンマッチ

インクルーシブボッチャ大会

令和5年10月1日（日）各種競技体験会、企業ブース、パラアスリートトークショー

イ 開催場所

(ア) メイン会場：東広島市（東広島運動公園、大創産業駐車場）

(イ) サブ会場：東広島市周辺市町

（呉市、竹原市、三原市、三次市、大崎上島町、世羅町）

ウ 実施内容等

パラスポーツの体験会をはじめ、パラアスリートによるトークショーや、企業のアトラクションブース、キッチンカーなどを設置し参加者が楽しく過ごすことができるフェスタを展開

(ア) 開会式

山根恒弘県パラスポーツ協会会長をはじめ、知事・開催市町長やトップ・パラアスリートのほか、サポーターの広島東洋カープOB安部友裕さん、広島ドラゴンフライズ朝山正悟選手、ヴィクトワール広島宮崎健太選手が登壇し応援メッセージ等のほか、特別支援学校の児童・生徒からも参加者代表等のあいさつがあった。

【日 時】 9月30日(土) 13時30分～14時15分

【場 所】 東広島運動公園 体育館メインアリーナ

【出席者】

・顧問

広島県知事、東広島市長、呉市長(代理副市長)、竹原市長、三原市長、三次市長、大崎上島町長、世羅町長、福山市長

・大会サポーター

| | |
|-----------------|-------------------|
| 広島東洋カープOB | 安部友裕 様 |
| 広島ドラゴンフライズ | 朝山正悟 選手 |
| ヴィクトワール広島 | 宮崎健太選手 |
| サンフレッチェ広島アンバサダー | 森崎浩司 様 ビデオメッセージ |
| サンフレッチェ広島レジーナ | 近賀ゆかり 選手 ビデオメッセージ |

・パラアスリート

| | | |
|---------|-------|----------------|
| 陸上競技走幅跳 | 日本代表 | 中西 麻耶 選手 |
| ボッチャ | 元日本代表 | 古満 渉 選手 |
| やり投げ | 日本代表 | 白砂 匠庸 選手 ビデオ出演 |

・(公社) 広島県パラスポーツ協会

会長 山根 恒弘
特別顧問 深山 英樹
常務理事 土井長 和典
常務理事 崔 希美

・参加者代表宣言

県立広島中央特別支援学校 ブライトサッカー女子日本代表 田中一華 さん
県立広島特別支援学校(NPO 法人スペシャルビックス日本・広島ボウリングアスリート) 尹 宝炯 さん

・アトラクション

東広島次郎丸太鼓



(イ) ボッチャエキシビジョンマッチ

ボッチャ元日本代表古満渉選手解説のもと、パラアスリート走り幅跳び日本代表中西麻耶選手、サポーターの安部さん、朝山選手等がボッチャ対決をした。1球ごとに観客から歓声があがり、会場が盛り上がった。だれでも共に楽しめるパラスポーツの魅力が発信できたイベントであった。

【日 時】 9月30日(土) 14時25分～15時00分

【場 所】 東広島運動公園 体育館メインアリーナ

【参加者】

・プレーヤー

| | |
|---------------|----------|
| 広島県知事 | 湯崎 英彦 |
| 東広島市長 | 高垣 廣徳 |
| 広島県パラスポーツ協会会長 | 山根 恒弘 |
| 広島東洋カープOB | 安部 友裕 様 |
| 広島ドラゴンフライズ | 朝山 正悟 選手 |
| ヴィクトワール広島 | 宮崎 健太 選手 |
| 陸上競技走幅跳 日本代表 | 中西 麻耶 選手 |

県立広島特別支援学校(NPO 法人パラスポーツ日本・広島パラオグアスト) 尹 宝炯 さん

・司会

渡部 裕之 様 森山 雅野 様 (あびの会)

(ウ) パラアスリートのトークショー

トップ・パラアスリートの白砂匠庸選手(やり投げ)、中西麻耶選手(走り幅跳び)、古満渉選手(ボッチャ)、香西宏昭選手(車椅子バスケットボール)によるトークショーが開催され、各パラアスリートの競技にかける熱い思い等を語った。

【日 時】 10月1日(日) 12時30分～13時00分

【場 所】 東広島運動公園 体育館メインアリーナ

【参加者】

| | | |
|--------------|-------|----------|
| ・やり投げ | 日本代表 | 白砂 匠庸 選手 |
| ・陸上競技走幅跳 | 日本代表 | 中西 麻耶 選手 |
| ・ボッチャ | 元日本代表 | 古満 渉 選手 |
| ・車いすバスケットボール | 日本代表香 | 香西 宏昭 選手 |



ボッチャエキシビジョンマッチ



パラアスリートのトークショー

(エ) 各種体験会等

7市町において、車椅子バスケットボール、ボッチャ、ブラインドサッカー、フライングディスクなど16競技の体験会の開催があった。

【体験会例】

○ ギソクの図書館

国家資格の義足装具士が義足ユーザー個々の状態に合うように競技用義足をセッティングし走る楽しさ、喜びを感じてもらいたいという中中四国で初の試みを行った。中西選手が走り方の技術指導をするほか、試技も披露。



○ 身体障害者野球チームにサポーターの安部さんが参加

身体障害者野球に安部さんが参加し、笑顔あふれるインクルーシブな野球試合が行われた。



○ 競技団体等の運営とトップ・パラアスリートの指導等

各競技団体等が運営した体験会において、車椅子バスケットボールでは日本代表香西宏昭選手が、やり投げでは日本代表白砂匠庸選手が試技のほか指導も行った。



【7市町16競技一覧】

| | 市 町 | 会 場 | 競 技 | |
|-------|-----------|---------------------------------|-----------------|--|
| メイン会場 | 東 広 島 市 | 東 広 島 運 動 公 園 | メインアリーナ | インクルーシブボッチャ大会、 車いすバスケットボール体験、ボッチャ体験、 シッティングバレー体験、 HBG 重度・重複障害児スポ・レク活動教室（※1） |
| | | | サブアリーナ | ウォーキングサッカー体験、ブラインドサッカー体験 |
| | | | 陸上競技場 | 陸上競技体験、義足の図書館（義足お試しレンタル） |
| | | | 多目的広場 | フライングディスク体験 |
| | | | テニスコート | 車いすテニス体験 |
| | | | 野 球 場 | 身体障害者野球（観戦のみ）（※2） |
| | 大創産業本社駐車場 | 車椅子ソフトボール体験 | | |
| サブ会場 | 呉 市 | 海上保安大学校 | ハンザヨット体験 | |
| | 竹 原 市 | ピースリーホーム バンブー総合公園体育館 | 車いすバスケットボール体験 | |
| | 三 原 市 | 中央森林公園 | 自転車競技体験 | |
| | 三 次 市 | みよし運動公園 | フライングディスク体験（※3） | |
| | 大崎上島町 | 大崎武道館 | ボッチャ体験 | |
| | 世 羅 町 | せらにシタウンセンター | ボッチャ体験 | |

※1 「HBG重度・重複障がい児スポ・レク活動教室」は募集なし

※2 「身体障害者野球」は観戦のみ

※3 「障害者フライングディスク競技大会inみよし」内で体験ブースを設置

【体験会を運営した競技団体等】

（公財）広島県セーリング連盟、広島県車いすバスケットボール連盟、（一社）広島県ボッチャ協会、（一社）広島県インクルーシブフットボール連盟、広島県車いすテニス協会、ひろしま障害者フライングディスク協会、広島アローズ、広島県車椅子ソフトボールチーム サリーレ、広島ストーンズ、NPO法人スペシャルオリックス日本・広島、広島パラ陸上競技協会、HBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」、（公社）広島県理学療法士会、広島県パラスポーツ指導者協議会、（株）大創産業

（オ）企業・関係団体ブース、キッチンカー

（株）大創産業のブースでは「ダイソー商品でDIY体験」、（株）かんぽ生命保険のブースでは血管年齢測定、日本生命保険相互会社のブースではスポンサー契約の香西選手との写真撮影などを行った。会場の空きスペースで行われた企業等ブースには多くの参加者であふれた。また、メイン会場の入口にはキッチンカーも出店した。

- ・あいおいニッセイ同和損害保険（株）
- ・（株）大創産業
- ・（株）かんぽ生命保険
- ・日本生命保険相互会社
- ・ふれ愛プラザ
- ・（株）ユニコーン



(カ) ボランティア協力団体

企業、大学、スポーツ推進委員等 計 259 名のボランティアの参加があり、フェスタの運営を支えた。

【ボランティア参加した団体等】

あいおいニッセイ同和損害保険 株、日本生命保険相互会社、マツダ株式会社、明治安田生命保険相互会社、山根木材ライフケア株式会社、広島経済大学、広島大学、広島国際大学、広島文化学園大学、インターナショナルエアアカデミー広島校、東広島市スポーツ推進委員、公認パラスポーツ指導員



5. 事業の成果

(1) 評価指標

【指標】 K P I (県パラスポーツ推進事業)

○パラスポーツに関心を持つ人の割合 (障害のある人もない人も)

R4 25.0% → R5 25.0% (維持)

○障害のある人が週1回以上、スポーツをする割合

R4 33.9% → R5 35.5% (1.6%上昇)

(2) 結果 (目標) と考察

インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島は、当協会が中心となり、県内を4つに分け、4年に1回の持ち回りとして、障害の有無に関わらず、誰もが参画し、楽しめるイベントである。初開催の令和5年度には、市町、競技団体、企業等の多様な主体と連携を図りながら、東広島運動公園を中心に7市町16競技が開催され、体験会参加者、スタッフ、観客を含め目標数値であった3,000名を超える参加があった。

障害がある人もない人も、共に楽しめるパラスポーツの体験会等を通し、家族、友人、職場の仲間等、多様な人が共に来場した参加者には、温かな笑顔があふれ、盛大に成功のうちに終えることができた。

【参加者】

■全体総数 **3,010名の参加**

| | メイン会場 | サブ会場 | 合計 |
|-----------|-------------|------------|-------------|
| 参加者 | 610 | 265 | 875 |
| ボランティア | 226 | 33 | 259 |
| スタッフ | 250 | 96 | 346 |
| 観客 | 1350 | 180 | 1530 |
| 合計 | 2436 | 574 | 3010 |

※スタッフは、競技団体、企業ブース、医療関係者、事務局等を含む

※観客は、参加者の親・付添も含む

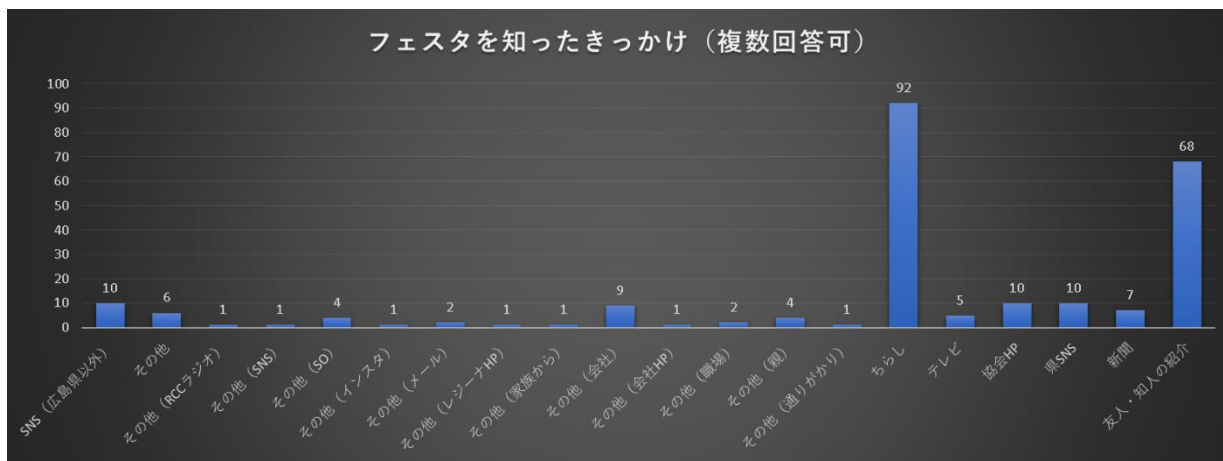
【広報活動】

| 広報手段 | 時期(期間) |
|--|----------------------------|
| 県のホームページ(トップページ掲載) | 8月11日～(9月7日～) |
| サポーター就任式、知事・副知事表敬訪問 | 7月5日、8月18日、8月29日、9月7日 |
| 県SNS掲載(サポーター就任式、参加者プレゼントなど) | 8月、9月複数回 |
| 知事定例記者会見 | 9月12日 |
| 県パラスポーツ協会HP内にLP | 8月2日～ |
| Google検索、LINE広告、Instagram広告 | 8月7日～9月18日、23日～30日 |
| 県内小中高等学校にメールで周知 | 7月10日 |
| 東広島市内の小中学校・特別支援学校にチラシの配布(東広島運動公園近隣学校に直接配付) | 7月18日(9月14日) |
| 障害者関係団体にメールで周知 | 7月28日 |
| 中国新聞掲載(広告、チラシ)、産経新聞掲載(広告) | 7月4日、8月24日、9月9日、9月29日、9月6日 |
| 県パラスポーツ指導者協議会の指導者にチラシ配布 | 9月13日 |
| 東広島市広報誌9月号の掲載 | 9月 |
| マツダスタジアムの大型ビジョンで動画 | 8月15日～9月4日 |
| ラジオ | 8月23日、9月22日 |

【アンケート結果】

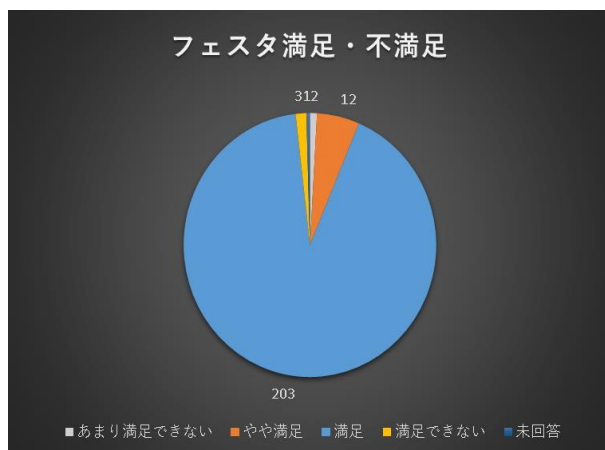
①広報状況（フェスタを知ったきっかけ）

フェスタを知ったきっかけとして、「チラシ」が約40%（92件）、「友人・知人の紹介」が約28%（68件）、「SNS関係（HPや各媒体のSNS等）」が約15%（34件）であり、**チラシが最も効果的な広報手段**であった。また、SNSに関しては、インスタ、LINE、Googleディスプレイ広告／リスティング広告など、各媒体の特徴を踏まえて、25～45歳にターゲットイングし、また、「今回のターゲットはイベント直前に最も動くのではないか」との仮説を基に、ウェブ広告をフェスタ直前に重点的に実施した結果、事前の申込みにつながった。



②フェスタ満足度・次回の参加意向

フェスタの満足度について、**約97%が満足**（『満足』203名、『やや満足』12名）しており、また、次回参加意向についても、**約99%が「参加したい」と回答**があった。



6. 今後の事業展開予定

(1) 事業継続や横展開に向けたポイント、課題

- インクルーシブ・スポーツ・フェスタを実施するためには、様々な関係団体（市町、競技団体、民間企業、大学、ボランティア、指導者、理学療法士等）と連携を図る必要がある。また、一過性のものにならないために、関係団体と良好なネットワークを構築し、情報交換・共有できる体制を構築することが必要である。
- 次年度以降も継続して実施していくため、経費について、今回の受託費以外で、当協会の自主財源である会費やフェスタ参加企業の協賛金を含め資金確保が必要である。
- また、次年度以降の開催地を早めに決定し、各市町において、会場の確保や予算を確保し、協力依頼を行う必要がある。

(2) 次年度以降の事業継続、横展開の計画

- 次年度については、福山市をメイン会場、周辺市町（尾道市、府中市、庄原市、神石高原町）をサブ会場とし、開催市町と事業内容、予算、日程、会場等、調整を行っている。
- 開催場所を変更することで、開催地域の団体（企業や学校など）と新たに連携を図る必要がある。
- 経費について、次年度実施する企業及び開催市町の地元企業に対し、新たに当協会の賛助会員の加入案内や協賛金の資金確保をする必要がある。
- 当事業の他に、パラスポーツ普及イベントとして、学校を対象とした事業（体験型授業）を予定しているが、その事業についても、関係者（企業や競技団体など）と連携して実施する予定である。